

【学力向上フロンティアスク - ル用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	埼玉県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	吹上町立小谷小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	2	1	1		7	13
児童数	30	33	30	41	33	33		200	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身につけ自ら学ぶ算数学習 個に応じた指導方法・指導体制の工夫・改善
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施学年・教科 第1学年～第6学年 算数</li> <li>・選択した理由 児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため一人一人の児童の興味・関心や理解の程度に応じた指導の充実を図り、確かな学力を身につけさせるため</li> </ul>
--

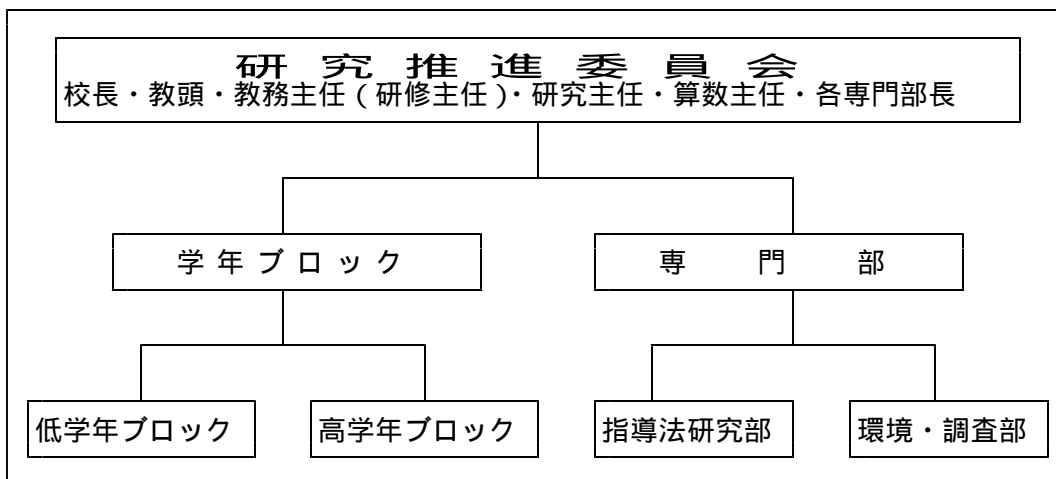
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テ - マ 個に応じた指導方法・指導体制の工夫・改善</li> <li>○ 研究の見通し(仮説) 算数科において、少人数指導を導入することで、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導ができ、基礎・基本を確実に身につけ「確かな学力」を育てることができるであろう。</li> <li>○ 研究の内容・方法 算数科における少人数指導の在り方の研究 算数科の特性を生かした指導方法の工夫・改善 教材の開発 指導と評価の一体化を目指した評価の工夫・改善</li> </ul>
--------	---

平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テ - マ 個に応じた指導方法・指導体制の工夫・改善</li> <li>○ 研究の見通し 算数科において、少人数指導を導入することで、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導ができ、基礎・基本を確実に身につけ「確かな学力」を育てることができるであろう。</li> <li>○ 研究の内容・方法 確かな学力向上を目指す指導方法の工夫 ・伸びる子をさらに伸ばす発展的な学習 ・基礎・基本の定着を図る補足的な学習 ・子どもの興味・関心を喚起する教材開発 ・算数的な活動を生かした学習 個に応じた学習形態の工夫 ・少人数指導によるT・T支援学習 ・均等型少人数学習 ・課題選択学習 ・習熟度別コース学習 自信とやる気につなげる評価の工夫</li> </ul>
--------	--

- ・子どもの自己評価力を高める
- ・個のよさを伸ばすための評価
- ・習熟度別コ・ス学習に応じた評価

### (3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

- ・少人数指導によって、個に応じた指導・支援を深めることができた。
- ・習熟度別コ・ス学習では、自分に合ったコ・スを選ぶことにより、主体的な学習ができるようになってきた。
- ・少人数指導の様々な学習形態は、児童の学習意欲を高めるきっかけとなっている。

#### 2. 今後の課題

- ・単元計画・学習形態・指導方法については、今年度の反省を生かし再検討していく。
- ・習熟度別コ・スの中の個人差にも応じた指導・支援の工夫
- ・少人数指導を充実させるための指導方法、評価について、さらに工夫・改善を図る。

学力等把握のための学校としての取組

- 児童の意識調査
  - ・調査の目的  
児童の算数(少人数)学習に対する関心及び習熟状況を把握するため
  - ・実施内容
  - (1) コ・ス選択について (2) 学習への関心 (3) 学習の習熟状況
  - ・実施時期  
平成15年12月
- 学力検査
  - ・調査の目的  
算数科における、児童の現在の学力を把握するため
  - ・実施内容  
TK式観点別到達度学力検査 算数(1年～6年)
  - ・実施時期  
平成16年2月3日(火)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 授業研究会
  - ・日時 平成15年11月7日(金) 13:30
  - ・場所 小谷小学校
  - ・対象 吹上町算数数学研究部及び本校職員
  - ・目的 研究成果の普及と研究の深化
- 南部地区学力向上研究協議会(学力向上フロンティアスクール発表)
  - ・日時 平成16年1月28日(水) 13:30
  - ・場所 桶川市民ホール
  - ・対象 管内各小中学校管理職及び学力向上担当者、各市町教育委員会
  - ・目的 研究成果の普及
- 研究紀要
  - ・平成15年度中に作成予定(町内各小中学校に配布)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無